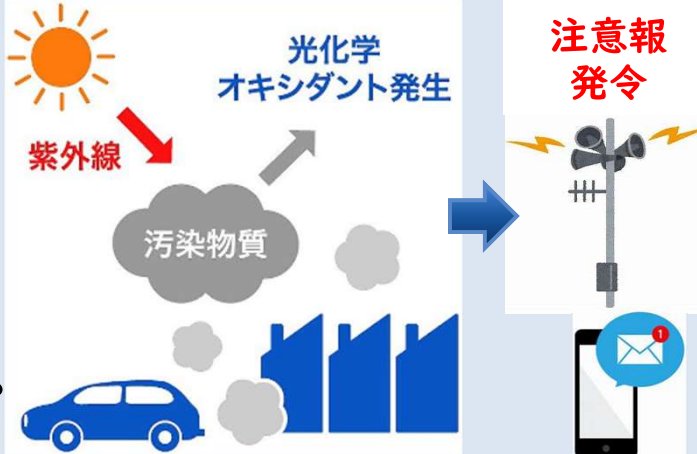



総合テストベッド利用事例紹介

光化学オキシダント注意報の早期警戒支援システムの評価・検証事例

項目	内容
<p>背景</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染防止法に基づき、都道府県や政令市では、大気汚染の常時監視を行っている。 ・4月から9月にかけて、<u>光化学オキシダントの高濃度</u>が発生した場合、都道府県から<u>注意報</u>が市町村、関係機関、地域住民に発令される。 ・4月から9月にかけて、自治体職員は注意報発令に備えるため、休日も含めて監視体制をとっている。 
<p>実施機関</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・NICT ユニバーサルコミュニケーション研究所 統合ビックデータ研究センター ・グリーンブルー株式会社
<p>概要</p>	<p style="text-align: center;">光化学オキシダント注意報の早期警戒支援システムの開発</p> <p>国内で環境基準が未達成の光化学オキシダントの注意報発令及び解除予測支援を対象に、データ連携分析に基づく環境品質予測を地域の環境モニタリングデータにより適応化させる方法の研究開発・評価・改善に取り組む。</p> 
<p>期待される効果</p>	<p>自治体による監視業務の負荷軽減や人員削減の効果が期待できる。</p>

総合テストベッド利用事例紹介

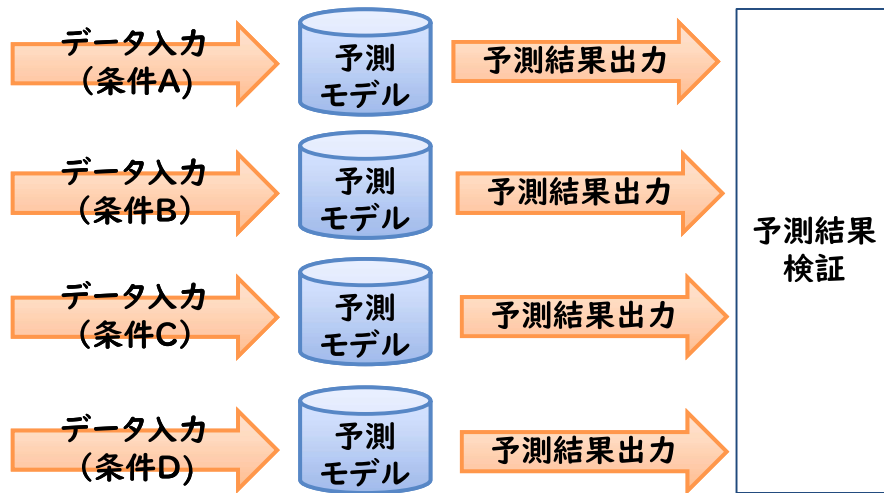
光化学オキシダント注意報の早期警戒支援システムの評価・検証事例

テストベッドのメリット

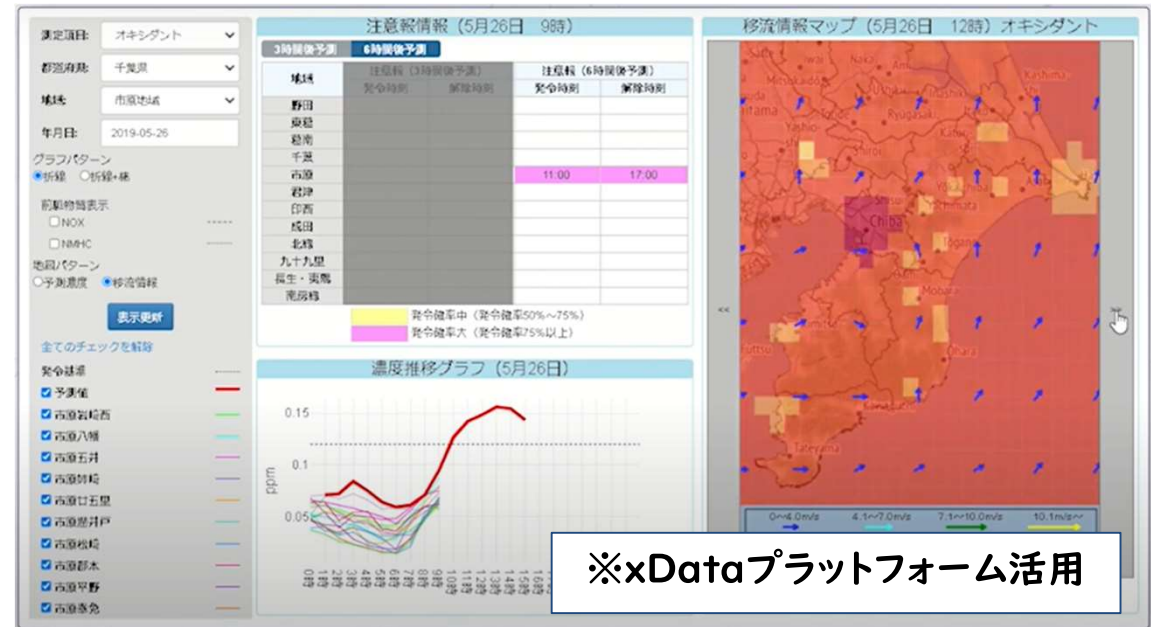
■ テスト工数の大幅な圧縮 (1/4~1/5に圧縮)

① 予測並列処理を活用した最適条件の評価・検証

② WEB-APIを活用したアプリケーションの評価・検証 (ユーザーテスト環境も容易に構築)



※検証・評価にはExcelやJupyter活用



テストベッドへの要望

■ 予測結果の評価・検証作業の負担軽減のために、ローコードまたはノーコードの分析ツールがあると有難い。【例：特徴量抽出のための相関分析、データ分布の可視化 (外れ値・欠損値等)、学習条件毎の予測精度の可視化】

⇒分析ツールの習得・作りこみに時間を要する。本来注力すべき、実用化に向けた

NICT 評価・検証にリソースを集中できるとよい。